

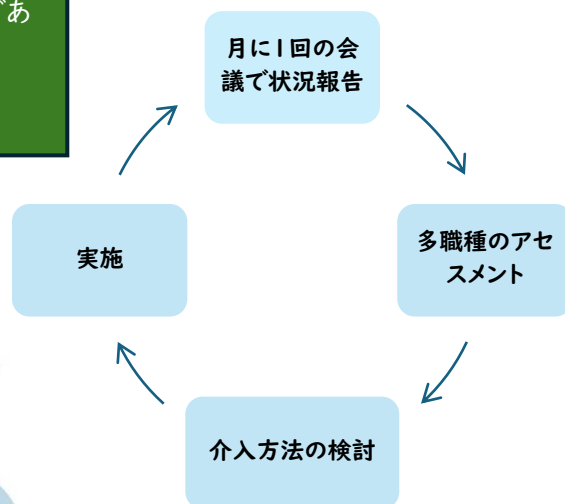
## 「当センターでの行動制限最小化の取り組みについて」 第 2 報

精神科認定看護師（行動制限最小化看護領域） 佐藤 亮

数年前に「当センターでの行動制限最小化の取り組みについて」というテーマで、当センターの取り組みをご紹介しました。今回はその後の取り組みの経過についてご紹介したいと思います。

### 多職種によるプロジェクトチーム（以下 KPT）の活動内容

- ☆月に 1 回の会議で、対象者の状況を報告する。
- ☆その内容を多職種でアセスメントしどのような介入が有効であるかを検討する。
- ☆検討した介入方法を実践し次回の会議で報告する。



### KPT での活動の途中経過

2 名の長期行動制限患者に対し介入を継続した結果、現在の状況は…

A さん：開放観察の時間が長くなり数年ぶりに外出することができた。

B さん：身体拘束は解除、隔離は開放観察を実施している。数年ぶりに外出することができた。

この場では詳細をお伝えすることができませんが、KPT で介入した 2 名の患者さんの処遇拡大に繋がっています。

また、KPT メンバーが行動制限最小化委員会の委員となりました。委員会の中で、KPT が介入している事例について状況報告を行い、委員会でも介入について検討できるようになりました。今後は他の患者さんに対しても KPT で検討し、行動制限最小化に取り組んでいきます。